

デジタルマルチトランスデューサ KA1J

ステータス(4入力)

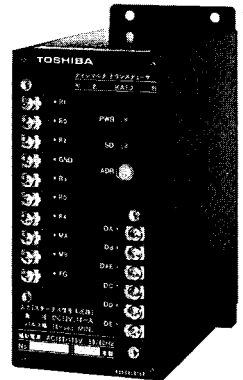
■概要

「デジタルマルチトランスデューサ」は外部からのステータス信号を受信しこれをシリアル信号に変換しデータ出力します。

当社製「電力管理用モニタ」と組み合わせることにより多回路の効率のよいデータ処理が行えます。

■特長

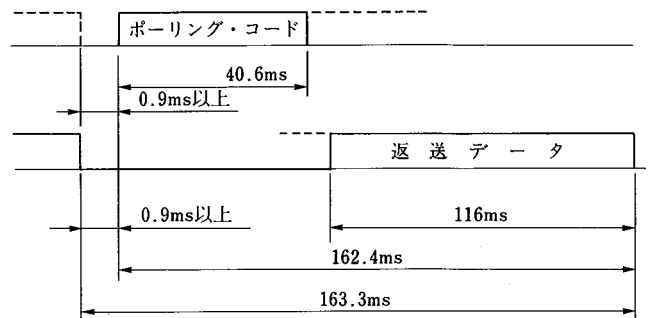
- 4回路入力形のため取付けスペースが節約できます。
- シリアル出力信号(当社オリジナル)のため配線が簡素化できます。
- 回路と出力はフォトカプラにより分離されています。



■演算部仕様

項目	仕様
測定回路	ステータス出力(最大4回路入力可能) オープンコレクタ出力またはリレー接点出力
入力信号定格	12V、10mA、10ms以上
補助電源	AC110V +10% -20%、50/60Hz
絶縁耐圧	AC2000V (補助電源)
負担	M _A -M _B : 4VA
動作温度範囲	-10~55°C
構造	表面取付、前面接続

○各項目ごとのデータ伝送タイミング



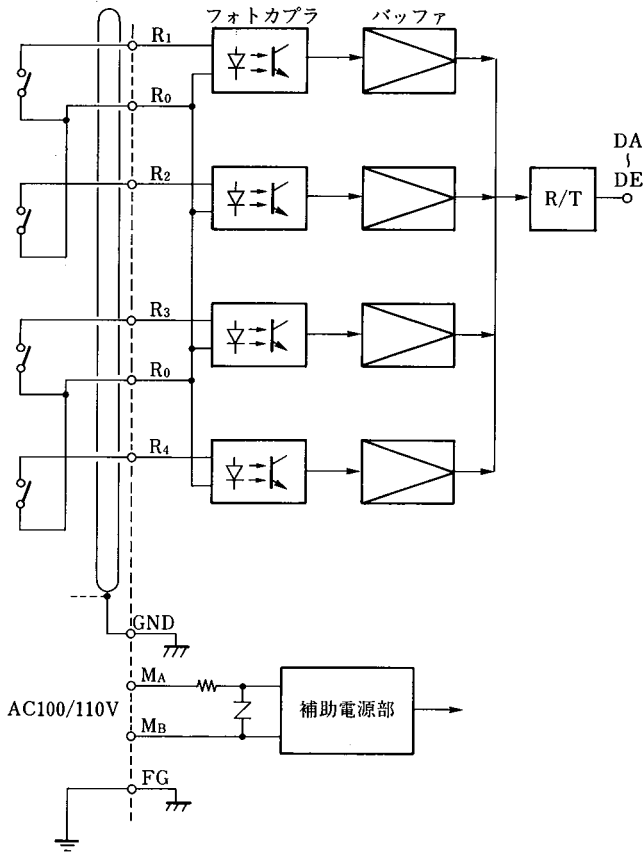
■出力部仕様

「デジタルマルチトランスデューサ」はセンターからのコード・ポーリングを受け入れそのコード・ポーリングのアドレス信号と「デジタルマルチトランスデューサ」の持つアドレスが一致した場合にデータ返送を行います。

項目	仕様
出力データ形式	シリアル反転二連送方式
通信方式	半二重通信方式
出力形式	オープンコレクタ出力
最大伝送距離	1000m
データ読み出し時間	116ms/測定項目
データ受け渡し総時間	163.3ms/測定項目
伝送速度	1200bps

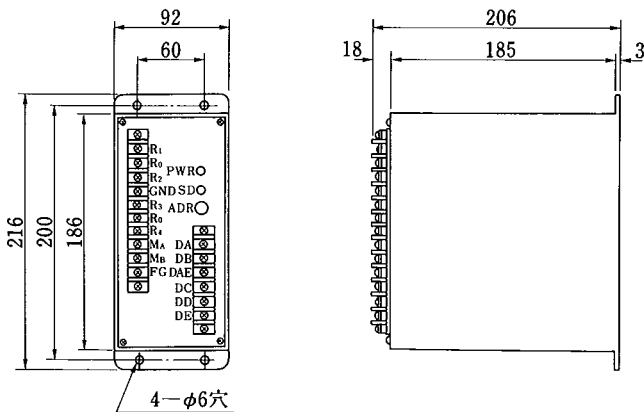
■構成

下記ブロックダイアグラムによる。



• R/T……シリアルデータ送受信部

■外形寸法



塗装色 N1.5(黒)
重量 約2kg

■ご注文の際は下記事項をご指定ください。

1. 形名
2. 組み合わせ型式
3. 組み合わせ変成比
4. 乗率
5. 周波数

記載内容は、設計変更その他の理由により、変更させていただくことがあります。

59.12.2,000(N)初版